

# クラウゼヴィッツの「正しい読み方」

新装補訂版

——『戦争論』入門—— Reading Clausewitz

英国グラスゴー大学教授

ベアトリス・ホイザー 著  
奥山真司・中谷寛士 訳

A5判ソフトカバー 400頁  
本体 3,000円 ISBN978-4-8295-0853-4



Beatrice Heuser  
(1961～)

戦略論の古典的名著『戦争論』は正しく読まれてきたのか？

★東アジアの安全保障環境が悪化している今こそ『戦争論』を正しく学ぶ必要がある。

『戦争論』の様々な解釈の要点をまとめ、クラウゼヴィッツの考え方を包括的に理解できる書！

小社既刊『戦争論』レクラム版と併売してください

## 第1章 クラウゼヴィッツの生涯と『戦争論』の誕生

◆クラウゼヴィッツの人物像と『戦争論』がどのように読まれてきたかを紹介する。

## 第2章 観念主義者のクラウゼヴィッツvs現実主義者のクラウゼヴィッツ

◆未完の大著『戦争論』の中には、1827年を境に考えの違う「二人のクラウゼヴィッツ」が存在していたことを詳しく分析する。

## 第3章 政治、三位一体、政軍関係

◆クラウゼヴィッツの国家や社会に関する思想、世界観を解説。

## 第4章 数字の先にあるもの

◆「軍事的天才」など、現在でも活用されたり議論されているクラウゼヴィッツの提唱した独特な概念の数々を再検証する。

## 第5章 防御・攻撃論、殲滅戦、そして総力戦

◆攻撃と防御の関係性という、現在の国際関係論の理論やミサイル防衛など、多岐にわたる議論について示唆を与え続けている概念の対立などについて幅広く議論を展開する。

## 第6章 クラウゼヴィッツのさらなる応用

——コーベットと海洋戦、毛沢東とゲリラ

◆その後の世代の戦略家（特にドイツ語圏以外）がクラウゼヴィ

ッツをどのように観察し、戦争論を実際に応用したかをまとめています。

## 第7章 核時代のクラウゼヴィッツ

◆冷戦時代の核戦略、そして現在も大きな意味を持つエスカレーションや限定戦争などの考えの発展にクラウゼヴィッツがいかに寄与してきたのかを解説する。

## 第8章 二一世紀におけるクラウゼヴィッツの有効性

◆クラウゼヴィッツの概念の有用性やその過信の危険性について解説する。

原書注【解説】

☆「最も読みやすい」と好評のロングセラー☆  
クラウゼヴィッツ 【好評15刷】

『戦争論』レクラム版

日本クラウゼヴィッツ学会訳 本体 2,800円

古典的名著が画期的な新訳でよみがえった。



1月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 1月6日（金）です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行者 ( )	発行 芙蓉書房出版	本体	注文数
	クラウゼヴィッツの「正しい読み方」 新装補訂版 【新刊】	3,000円	
注文者 ( )	『戦争論』レクラム版 【好評15刷】	2,800円	